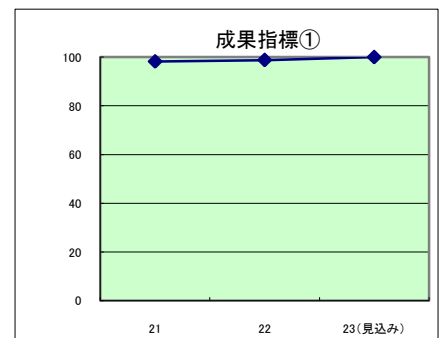
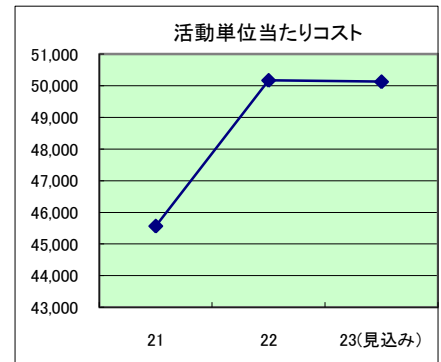


事務事業名	乳幼児健康診査事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	予算科目	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	2	予防費
				事業	6	親子すこやか
施策(節)	1	保健・医療	作成部署	保健福祉部保険健康室健康増進課		
施策の方向	(2)	保健事業の推進	連絡先	072 - 958 - 1111 内線 5150		
関連する計画等			対象(誰を・何を)	乳幼児とその保護者		
事業の目的	意図(どういう状態にしたいのか) 乳幼児の身体・精神面における疾病の早期発見・早期治療により、健康の保持増進を図るとともに、育児支援を行う。					
事業の内容	場所: 保健センター 内容: 4か月児健康診査・1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳6か月児健康診査 予診・身体計測・内科診察・歯科診察(虫歯予測試験含む) 集団指導(保健師・栄養士・歯科衛生士)・個別指導(保健師・栄養士・発達相談員)					
根拠法令等	母子保健法					
事業開始時期	☐ 昭和 9 年開始 ☐ 明確にはわからない		終了年度			平成 年度
	☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている					
事業開始時からの状況変化						
市民や議会の要望						
実施手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容			
	☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		24,450	23,742	27,337
人件費【2】 (千円)		17,556	19,356	16,776
職員数	正規職員	1.85 人	1.95 人	1.65 人
	再任用職員	0.27 人	0.20 人	0.20 人
	嘱託職員	0.90 人	1.59 人	1.49 人
	臨時職員	0.53 人	0.60 人	0.50 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		42,006	43,098	44,113
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	42,006	43,098	44,113
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 受診者数 (4か月児健診)		922	859	880
② 受診者数 (1歳6か月児健診)		935	922	940
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		45,560 円	50,172 円	50,128 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		353 円	365 円	374 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	①	4か月児健診受診率 (式) 受診者÷対象者×100	%	受診率の向上が乳児の健康の保持・増進につながる。	目標	100	100	達成率(%)	100	
					実績	98.2	98.8	98.8%		
	②	1歳6か月児健診受診率 (式) 受診者÷対象者×100	%	受診率の向上が幼児の健康の保持・増進につながる。	目標	100	100	達成率(%)	100	
					実績	98.0	95.7	95.7%		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	母子保健法に定められている。乳幼児の疾病の早期発見・早期治療により健康の保持増進を図るとともに、育児支援を行うっていく必要がある。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	乳幼児健診は、母子保健法で定められている範囲内の年齢（月齢）で実施しており、乳幼児の成長発達には欠かせない事業である。育児中の保護者にとっても、乳幼児健診は疾病などの早期発見・早期治療につなげるだけでなく、育児不安解消・育児支援を求める場ともなっている。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	受診者の待ち時間が少なく効率的に健診が実施出来るように体制を組んでいる。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	医師・歯科医師・歯科衛生士・発達相談員・保健師・看護師・栄養士・保育士など様々な専門職種が健診に従事することで、より有効的な健診実施を目指している。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	事業の企画・立案・実施に市民が参加協力することはないが、健診を受診された方の意見は出来る限り反映させている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	乳幼児健診受診率は大阪府平均より高く、経年的にみてもほぼ同様の受診率が維持されている。BCGを併用することにより、4か月児健診は99%近い受診率となっている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	乳幼児健診は疾病などの早期発見・早期治療につなげるだけでなく、育児不安解消・育児支援を求める場ともなっており、乳幼児の成長発達や育児中の保護者にとって欠かせない事業である。	
	今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）	
行 革 本 部 評 価	当市の健診受診率は府下のにも高い受診率を維持しており、今後も未受診者の把握につとめ、受診率の向上を目指すとともに、健診精度の向上や受診しやすい環境整備をすすめていく。	
	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	